



シトリックス、Microsoft Azure対応DaaSソリューションCitrix Virtual Apps and Desktops Standard for Azureを11月5日(木)より国内提供開始

VDI構築の初期費用の削減とVDIの複雑な運用から解放され「働き方改革」を容易に実現

2020年11月05日 # シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：尾羽沢 功、以下、シトリックス）は、マイクロソフトのクラウドプラットフォームであるMicrosoft AzureからWindows仮想デスクトップおよび仮想アプリケーションを配信する、本格的でリーズナブルな価格のAzure専用Citrix DaaS (Desktop as a Service) サービスである「Citrix Virtual Apps and Desktops Standard for Azure」を本日11月5日(木)より国内で提供開始することを発表しました。

このサービスを利用することで、Windowsデスクトップおよびアプリケーション仮想化がクラウド上で展開されることになり、仮想マシン増減に迅速に対応できるなど、高い柔軟性を保つことができます。また、Citrix仮想ソフトウェアや仮想環境用ハードウェアを購入することなくCitrix CloudやMicrosoft Azureなどのクラウドサービスでデスクトップとアプリケーションを利用できるため、企業は初期費用を削減できるほか、労働環境の改善、従業員の生産性向上支援など「働き方改革」を容易に実現することができます。

テレワークなど働き方が多様化している昨今、オンプレミスで構築されたVDI環境では、社外からのリモートアクセスの増加によるリソース拡張が追いつかないなどの問題やOffice 365などのクラウドサービスの利用が増えたことによるトラフィック増加など運用上の問題点が顕在化しています。このような問題を解決するため、VDIの新たな選択肢としてクラウド上のDaaS (Desktop as a Service) を利用する方法が注目されています。とりわけ、Citrix DaaSサービスは、本格的なエンタープライズ要件に対応したDaaS活用手段として、マイクロソフトがAzure上で提供しているMicrosoft Windows Virtual Desktopと同様に現在注目されているソリューションです。

CitrixのDesktop and Applications Group、Product Marketing担当シニアディレクターであるカリサ・ストリンジャー (Carisa Stringer) は次のように述べています。「今日の仕事は実際のオフィスや従来のデバイスには縛られません。仕事は1日のどのような時間帯においても、世界中どこでも、またPCやラップトップからスマートフォン、タブレット、さらにはスマートウォッチまでにわたるあらゆるデバイスにおいても行われています。企業はCitrix Virtual Apps and Desktops Standard for Azureを通じ、それぞれの従業員が仕事を進めると共に最大の生産性を上げるために必要とするデスクトップへのアクセスを迅速かつ容易に提供できるようになります」

Windowsアプリとデスクトップ配信の最も簡単で迅速な方法

Citrix Virtual Apps and Desktops Standard for Azureは、Citrixとその強力なパートナーエコシステムとの密接な協力を通じて提供されるサービスで、クラウドベースの管理、プロビジョニング、任意のデバイス配信のための管理機能など、Windowsデスクトップとアプリケーションを安全に、シンプルかつ迅速に供給するために必要なすべての機能を備えています。

- CitrixがホストするWindows仮想デスクトップを配信し、マルチセッションWindowsマシンからアプリを配信するためのクラウドベースの管理とプロビジョニングを提供。
- Citrix HDXプロトコルが組み込まれたCitrix Workspaceアプリ使用による幅広いデバイスからの高品位ユーザーエクスペリエンスを提供。
- Citrix管理の単一セッションおよびマルチセッションイメージとともに、最新のCitrix Virtual Delivery Agent (VDA) がインストールされたCitrix管理イメージがシンプルに。
- Citrix Gatewayサービスのグローバルポイントを使用して、あらゆるデバイスからのリモートアクセスをセキュリティで保護。
- 高度な監視機能とヘルプデスク管理機能。
- Azureのコンピューティング、ストレージ、および仮想デスクトップを提供するためのネットワークを含む、管理対象Azure taaS。
- Azure基盤の専用クライアントOSやOffice365のパブリッククラウド上でのセキュアな利用が可能。
- Windows Sever OS、 Widows Clint OS、 Linux OSに対応
- 物理PCを使ったリモートPCアクセスに対応
- Citrix Workspace Space Standardへの統合により、生産性を高めた高性能Workspaceへアップグレードが可能。

このソリューションを通じて、IT管理者には日々の業務に簡素化に加えて以下のメリットがもたらされま

- 社内と契約あるいは季節雇用など外部の従業員の両方に対し、リソースに安全にアクセスすることの可能なデスクトップを迅速に調達。
- 合併や買収に伴う新規のユーザーへの対応など、需要の変化に応じて仮想デスクトップの提供規模を迅速に拡大。
- Azureにホストされた仮想デスクトップと、オンプレミスのActive Directoryやその他の企業リソースなどとを容易に統合。
- エンドユーザーがアプリケーションとデスクトップを直ちに利用でき、パフォーマンスとユーザーエクスペリエンスを最適化できるよう、複数の地域にわたるワークロードを効率的に展開管理。

Nocontract.comのCEOであるマイケル・ドナルドソン (Michael Donaldson) 氏は次のように述べています。「従業員数30名の小さな企業である弊社にとって、より少ない人数でより多くの業務をこなすことは極めて重要です。Citrix Virtual Apps and Desktops Standard for Azureは、従業員がそのパフォーマンスを最大限に高め、弊社の事業をさらに推進するために必要なWindowsアプリケーションの従業員への供給とその管理を行うことのできる容易かつ効率的でコスト効果に優れた手段です。」

コラボレーションに基づくソリューション

Citrixのパートナーは、組み込まれたマルチテナント管理ユーザーインターフェイスを活用し、カスタマイズされたサービスをCitrix Virtual Apps and Desktops Standard for Azure上に直接構築し、様々なバーティカル市場向けサービスとして展開ができます。Citrix Partner of the Yearを受賞したXenTegraのChief Marketing and Technology Officerであるピート・ダウニング (Pete Downing) 氏は次のように

述べています。「Citrix Virtual Apps and Desktops Standard for Azureは、Microsoft Azureの強力を活用したシンプルで拡張性に富んだ管理し易い、実際の業務に役立つソリューションです。弊社のお客様にとって導入し易い、1デスクトップあたりの価格でDesktop as a Service ソリューションを容易に構築できるようになったことを喜ばしく思います」

シンプルで柔軟な価格設定

Citrix Virtual Apps and Desktops Standard for Azureは11月5日(木)より国内で一般提供を開始します。本サービスは月額または期間ベースのほか、ユーザーもしくはデバイスベースの購入が可能で同時ユーザーライセンスも提供しています。このリーズナブルで柔軟な課金体系により、企業は変化し続けるビジネスニーズに合わせて柔軟にコスト設定ができます。Citrix Virtual Apps and Desktops Standard for Azureのライセンス/課金システムならびにサービスの詳細につきましてはこちらをご覧ください。

調査方法 本調査はCitrixが世論調査会社OnePoll (www.onepoll.com) に依頼し、テレワークで実施可能なポジションに就いている米国のオフィスワーカー2,000人（回答者の多くは知識労働者-経済的利益を生み出すために知識を使用する労働者）を対象に2020年9月がオンラインで実施されました。

#

<Citrix製品に関するお問合せ> <https://www.citrix.com/ja-jp/contact/form/inquiry/>

【ソーシャルアカウント】

- Twitter : https://twitter.com/citrix_jp
- Facebook : <https://www.facebook.com/CitrixJapan/>